

9月14日、15日と慶應普通部の学校説明会がありました。同時に出願書類の配布も始まりました。これで3校とも出そろった形になります。

普通部の入試は例年と同じで、出願書類も変更はありませんでした。

したがって2月1日午前が4教科の試験、午後に面接と体育実技という形になります。解散も例年通り、ランダムということになりますので、早い受験番号をとったからといって、早く解散になることはありません。

概ね15時～16時頃になるでしょう。ただここから間に合う午後入試もありますので、受験番号は気にすることなく、逆に出願などの準備をしっかり進めてください。

卒業生であるか、コネがあるかは関係ない

先日、あるお母さんから相談を受けました。

「塾で、湘南と中等部の二次試験のことを聞いたのですが、『慶應はわからないから』と特に何の対策も言われず、困ってしまってます。」ということでした。

塾によっては二次試験があるから慶應は受けさせない、と公言するところもあるようですが、別に何か特別な要素が加わっているわけではありません。

例えば慶應にコネがないと入れない、という話は昔から良く聞きますが、コネがあっても落ちた、という話もたくさん聞きましたから、まあ、そういう話は一杯世の中に広がっているものの、本質ではないのだ、と考えてください。

長年慶應の指導をしてきて、自分自身も我が子の入試で面接を受け、その後入学して先生方の話を聞いてきて、なるほどと思うことばかりでした。

慶應は実に多くのOBがいます。OBを大切にしないわけにはいきませんが、だからといって全員を入れるなど到底不可能なわけで、そこは誰が来てもちゃんとしているわけです。

だから踏むべき石をちゃんと踏む、ということが大事です。慶應3校とも同じ慶應でありながら、入学する生徒に求めることは微妙に違っています。だからこそ、それぞれの学校に対する対策が必要なのです。

成績が良かったのに二次試験で落ちた、という話はたくさん聞きますが、それは成績だけではない、という実際の証拠でしかありません。コネがなかったから、卒業生でなかったから、という理由はあてはまらないのです。

その具体的な内容は慶應進学オンラインで説明していますので、ぜひご活用ください。

慶應進学オンライン、各校の出願対策を開始しました。

慶應オンラインは、2012年1月にリリースして、今期で8期目を迎えます。

慶應普通部、湘南藤沢中等部、中等部の入試対策をオンラインで行えるよう、多くの教材が用意されていますが、後期は、算数、理科、社会について、普通部、中等部、湘南藤沢中等部の入試傾向に沿ったそっくりプリントを演習します。

また保護者向けには以下のコンテンツが用意されています。

- 9月 湘南藤沢、活動報告書、願書の書き方
- 10月 中等部願書の書き方
- 11月 普通部願書の書き方
- 12月 出願時の注意と面接のポイント
- 1月 中等部、湘南藤沢、保護者面接の注意点

費用は年間一括48000円です。年間一括となり、遅く申し込まれても費用が下がることはありません。ご入会いただきますと、2020年2月15日まですべてのコンテンツをご覧、利用いただけます。

購読手続については以下のサイトをご参照ください。

慶應進学オンラインについて
<http://hougakkan.com/keio/guide>

慶應の受験準備にぜひお役立てください。

普通部の算数を制す勉強法

普通部は他の2校と違い、算数の試験時間は40分です。

40分にもかかわらず、すべての問題が記述式になっている。

ただ記述するスペースはそれほど大きくはない。どう考えても問題をていねいに解説するなんてことは事実上不可能なのです。

問題はおよそ9題ですが、小問数にすると14題程度。したがって1問3分弱しかかけられないのです。

そこで記述を書くためにはどうするのか。

解く式を書いていくしかありません。文字で説明するのはなかなか困難ですから、実際に過去問を解いてみて、どういう書き方ならまとまるのかをちゃんと確認する必要があります。

過去問をやって、解き方を教えてもらったり、解説を見たりして理解することは多くの受験生がやるわけですが、解き方をもう一度書き直す、ということはほとんどの子がしていません。

だから、つまらないミスがなくなるところもある。ちゃんと式を書いて確認できれば、慌てずとも正確に解き上げる力が身についてくるのです。

まだ練習が十分でなければ、スペースを意識しながら練習をしてみてください。この練習をちゃんとやれば、かなりミスが減って普通部の算数の得点が上がってきますから。

慶應進学館 新年度募集について

慶應進学館は2020年2月10日から新年度の授業を開始します。

2020年度から新たに集合授業、個別指導、オンライン個別指導を融合して、会員が時間を有効に使える体制に変更します。

慶應湘南の活動報告書のフォーマット変更に伴い、受験勉強以外の時間をしっかり確保することも慶應受験では必要な状況になってきました。

そこで、慶應進学館は5年からの2年体制は変えず、5年から学校別特訓の内容に絞り込み、最も効率の良い慶應合格指導を実践します。

入室には入室審査があります。基本的に慶應3校を絶対に受験する、という志望をお持ちのご家庭のみ、ご参加ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

くわしい内容につきましては、以下の入会案内をご覧ください。
<https://keiosg.com/archives/9247>

学校別模擬試験

慶應3校の模擬試験は、以下の塾で行われます。

学校別サピックスオープン

慶應普通部 11月4日

慶應湘南藤沢中等部 10月14日

慶應中等部 11月4日

四谷大塚

慶應中等部 11月17日

早稲田アカデミー

慶應普通部 10月14日

1種類の試験ですべての学校の判定を出すのと違い、各校の入試問題にそっくりな形になっているので、練習してください。

ただし、合否判定が多少厳しくてもあまり気にしないことです。それよりも、後にしっかり復習してください。

編集後記

9月27日号をお届けします。

今年から慶應進学館で湘南の英語対策を実施することになりました。ついに小学生

に対して英語に授業をする、ということになったわけで、時代は変わりました。

ただ、基準が英検2級から準1級とはっきりレベルが示されている分、過去の湘南の外国語作文に比べれば対処しやすくなっています。

近年英語を学んでいる小学生は多く、英検2級を持っている、あるいはその位の英語力がある子どもたちがいるので、逆に英語ができればあとは算数と国語だけの準備で済む分、この入試にもしっかり対応していきたいと思います。

今回も読んでいただいてありがとうございました。

次号は10月13日送信予定です。

「子どもを慶應義塾諸学校に入れる」Kindle版のお知らせ

<https://www.amazon.co.jp/dp/B009XGN2BG/>

田中貴 映像教材のご案内

子どもたちが難しい、というテーマを取り上げて、基本から問題演習まで詳しく解説した映像教材です。すべての教材に動画授業とテキストがセットされています。

繰り返し勉強できますし、タブレットでもお使いいただけます。

田中貴指導 中学受験「これでわかるシリーズ」はこちらから
<https://www.hougakkan.com/books/archives/2257>

慶應義塾進学情報

mail info@keiosg.com

URL <http://www.keiosg.com>

関連サイト <http://tanakatakashi.com>

購読の中止はこちらから

http://www.keiosg.com/?page_id=12
